

ヒラメを優しく放流していました

また帰ってきてね！

平国小学校ヒラメ放流事業

4月28日（月）、津奈木漁協前で平国小学校児童21人によるヒラメ稚魚の放流が行われました。この放流事業は、豊かな海を作ろうと全国各地で行われており、年間約2500万匹のヒラメ稚魚が放流されています。平国小学校での放流は平成8年に始まりました。

はじめに里海づくり協会の水本さんからヒラメの生態や放流の必要性などの説明があり、児童たちは真剣な表情で話を聞いていました。

児童たちは約5千匹のヒラメの稚魚を「元気でね！」と声をかけながら放流していました。

おかげさまで２０周年！

温泉まつり＆物産フェア開催

5月1日（木）でつなぎ温泉四季彩が２０周年を迎えたことを記念して5月1日～6日までの６日間『温泉まつり＆物産フェア』が開催されました。

3日（土）には、グリーンゲイトイベント広場特設会場で２０周年記念イベントが開催。当日は海・山の幸の直売会やバザーコーナー、バルーンアートプレゼントなどたくさんの出店があり、会場は賑わっていました。イベントの途中には、つなぎ舞鶴太鼓による和太鼓演奏も披露されつなぎ温泉四季彩の２０周年を盛大に祝いました。



バルーンアートには子どもたちが集まっていました

よみがえる昔の思い出



頭と手を使うゲームに悪戦苦闘しながらも楽しんでいました

あけぼの大学開校式

5月20日（火）、津奈木地区あけぼの大学の開校式がつなぎ文化センターで開催されました。同月13日に平国地区、14日には赤崎地区の同開校式が開催されました。今回は、全体で５６人の参加があり、昔懐かしい唱歌を歌ったり、体を使ったゲームをして楽しんでいました。

当日は参加者のリクエストした歌を教育長の伴奏に合わせて歌い、歌の合間には昔の思い出話を語り合いながら笑顔で歌っておられました。このあけぼの大学は地区ごとにそれぞれ6回ほど開催され、次回は楽しいスポーツを予定しています。

被災地へ届け！津小のサラ玉

5月８日（木）津奈木小学校の児童が東日本大震災で被災した小学校に贈るサラダ玉ねぎを収穫しました。これは津奈木小の児童たちに復興支援とともに食や農業の大切さを学んでもらおうと、JAあしきた津奈木青壮年部の協力のもと行われたものです。

中尾地区の耕作放棄地に昨年11月、苗を1万4千本植え付け、今年の3月には草取り作業なども行いました。当日行われた収穫作業は4・5年生と関係者約100人が参加。収穫を体験した児童たちは、自分たちの育てたサラ玉に感動した様子で「でかいのが獲れた!」と声を上げながら作業をしていました。

収穫されたサラ玉は同日の夕方、石巻市の小学校5校（石巻小、住吉小、門脇小、湊小、釜小）に計500㌔贈られました。児童らはトラックへの積み込み作業を手伝い、自分たちで書いたメッセージも一緒に送りました。



1



2



3



4



5

1．3月には草取りも行いました。／2．JAあしきた津奈木青壮年部に教えてもらいながら収穫しました。／3．コンテナいっぱいのサラ玉を運ぶ児童。／4．たくさんのサラ玉ができました。／5．メッセージを同封して被災地へ送りました。



米田桃枝（よねだ　ももえ）さん祝100歳

１００歳おめでとうございます

5月1日（木）、桜戸地区の米田桃枝さんが100歳の誕生日を迎えられました。当日は西川町長が米田さんの元へ訪れ、お祝いをしました。本町では今年100歳を超えるお年寄りは３人目となります。

米田さんは大正3年生まれ。お祝いの際は元気におしゃべりをされては、絶えず笑っておられました。特にお祝いの花束は気に入られ、西川町長から手渡されると大事に抱えておられました。